

解説書



採譜・解説 / ジム・ケリー

目次

はじめに／使用ギターについて／譜面に関して	4
-----------------------	---

パート1:フィンガースタイル

I:フォーク／ルーツ系

exercise 1:ボーカル・バックギング・スタイル・エクササイズ1	6
exercise 2:ボーカル・バックギング・スタイル・エクササイズ2	7
exercise 3:トラディショナル・カントリー・スタイル・エクササイズ	7
exercise 4:アドバンス・ボーカル・バックギング・スタイル・エクササイズ	8
exercise 5:トラディショナル・オルタネイト・ベース・エクササイズ	8
exercise 6:カントリー・スタイル・ハンマリング&プリング・エクササイズ	10
exercise 7:ブルース・オルタネイト・ベース・エクササイズ1	11
exercise 8:ブルース・オルタネイト・ベース・エクササイズ2	12
exercise 9:アドバンス・カントリー・スタイル・ハンマリング・エクササイズ	13
exercise 10:ドロップD・ブルース・フィール・エクササイズ	14
exercise 11:ドロップD・ペンタトニック・メロディ・エクササイズ	15

II:クラシック系

exercise 12:クラシック系2分音符上の4分音符エクササイズ	16
exercise 13:クラシック系3/4拍子エクササイズ	17
exercise 14:コンテンポラリー3/4拍子ピアノ・スタイル・エクササイズ	18
exercise 15:クラシック・ギター曲風エクササイズ1	19
exercise 16:クラシック・ギター曲風エクササイズ2	21

III:様々なスタイル

exercise 17:6/8拍子リズム・エクササイズ	21
exercise 18:ロック・ピアノ・バックギング・スタイル・エクササイズ	22
exercise 19:ポピュラー・ピアノ・バラード・スタイル・エクササイズ	22
exercise 20:ラテン／フラメンコ・スタイル・エクササイズ	23
exercise 21:ロック・ピアノ風ペダル・ノート・エクササイズ	24
exercise 22:8分音符ポップ・グルーヴ・エクササイズ	25
exercise 23:フィンガースタイル・ジャズ・ギター・エクササイズ	26
exercise 24:ファンキー・ジャズ・ピアノ・グルーヴ・エクササイズ	27
exercise 25:コード・バリエーション・エクササイズ	28
exercise 26:インド風モード・スタイル・ドローン・エクササイズ	29
exercise 27:ブラジリアン・スタイル・グルーヴ・エクササイズ	30

PART 2 ピックスタイル

I:フォーク／ルーツ系

exercise 28:ウェスタン・ムービー風ピックスタイル・エクササイズ	32
exercise 29:フィドル・スタイル・エクササイズ1	33
exercise 30:G弦上のメロディ・エクササイズ	34
exercise 31:カントリー／ブルーグラス・スタイル・エクササイズ	35
exercise 32:Gmオープン・ポジション・エクササイズ	36
exercise 33:フィドル・スタイル・エクササイズ2	37
exercise 34:フィドル・スタイル・エクササイズ3	38
exercise 35:オールタイプ・アメリカン・スタイル・エクササイズ	39
exercise 36:Fメジャー・ペンタトニック・エクササイズ	40
exercise 37:フィドル・スタイル・エクササイズ4	41
exercise 38:開放弦を使ったフィドル・スタイル・エクササイズ	42

II:クラシック系

exercise 39:クラシック系アルペジオ・エクササイズ	43
exercise 40:セカンド・ポジション・エクササイズ	44
exercise 41:トラディショナル・クラシック・ギター・スタイル・エクササイズ	45
exercise 42:オープン&サード・ポジション・エクササイズ	46
exercise 43:メジャー・スケール・エクササイズ	46
exercise 44:マイナー・スケール・エクササイズ	48
exercise 45:バイオリン風スケール・エクササイズ	50
exercise 46:クラシック風アルペジオ・エクササイズ1	51
exercise 47:クラシック風アルペジオ・エクササイズ2	52

III:様々なスタイル

exercise 48:アコースティック・ロック・スタイル・エクササイズ	53
exercise 49:スウィング・フィール・エクササイズ	54
exercise 50:ルバート・テンポ・エクササイズ	55
exercise 51:フォーク調ワルツ・エクササイズ	56
exercise 52:フラメンコ風エクササイズ	57
exercise 53:ラテン・ジャズ・フィール・エクササイズ	58
exercise 54:ジャズ・スタイル・エクササイズ	59
exercise 55:6/8拍子ピッキング・エクササイズ	60
exercise 56:ボーカル・イントロ・スタイル・エクササイズ	61
exercise 57:Dマイナー・ペンタトニック・スケール・エクササイズ	61
exercise 58:コンテンポラリー・フォーク・スタイル・エクササイズ	62

おわりに	63
------	----

はじめに

今回紹介するエクササイズでは、フィンガースタイルとピックスタイル、そして幅広い音楽スタイルをカバーしています。ギタリストの視点からアコースティック・ギターにおける音楽的な可能性とテクニックを提供できたらと望んでいます。

これらのエクササイズは、順番通りに練習する必要はありません。パートやセクションを飛び越えて練習しても良いですし、DVDを観て気に入ったものを選んで構いません。

このエクササイズ以外にも取り組むべきものはたくさんありますが、これらのエクササイズは音楽的でチャレンジしがいのあるものであるはずで、皆さんの演奏能力向上の助けとなると共に、プレイの楽しさを見つけることにもなればと願っています。テクニックだけに取り組むのは退屈ですし、練習といえども自分の好きなものを楽しんでプレイすることがゴールへの近道でもあるのです。

幸運を祈っています。

ジム・ケリー

使用ギターについて

このDVDでは、コリングス(Collings)のD1Aというドレッドノート・サイズのギターを使用しています。

トップはアディロンダック・スプルースで、バックとサイドはマホガニーです。

コリングスはテキサス州オースチンで作られている非常に優れたギターです。最近ではエレクトリック・ギターも製作し始め、私も使用しています。

譜面に関して

本解説書に収録された譜面は、すべてインストラクターが自ら作成したオリジナル・スコアを使用しています。インストラクターの意向により、DVDにおける実際の演奏の完全コピー譜ではなく、練習用の譜面として使いやすいよう、なるべくシンプルで見やすい形にしています。そのため、DVDにおける実際のインストラクターの演奏では、即興的なバリエーションや、譜面に表しにくい細かなニュアンスやアクセント・装飾、微妙なリズムの揺れなどが加えられている場合もありますので、その点はご了承ください。

パート1 フィンガースタイル

フィンガースタイルでは、親指でベース音を弾くのが一般的です。親指はローE弦とA弦、時にはD弦もカバーします。G弦・B弦・ハイE弦は人差し指・中指・薬指でプレイします。薬指は使わず、人差し指と中指のみで弾くこともあります。D弦は親指で弾いたり人差し指で弾いたりしますが、いろいろな可能性を試してみることが必要です。私自身は、その時のフィーリングやベストなサウンドに応じて変えたりしています。

exercise 1

ボーカル・バッキング・スタイル・エクササイズ1

- できる限り一定のテンポでプレイしましょう。
- ボーカル曲のイントロに合うパターンです。またピアノ・パートのようでもあり、ミュージカルなどでもよく使われるパターンです。

Exercise 1 consists of two systems of musical notation. Each system has a standard notation staff on top and a guitar tablature staff on the bottom. The first system features three measures with chords C sus4, C, and F²/A. The second system features four measures with chords F²/B, C sus4, C, and C. The tablature shows fingerings and fret numbers for each note.

exercise 2

ボーカル・バッキング・スタイル・エクササイズ2

- これもボーカル・スタイルのイントロや伴奏スタイルと言えます。
- 親指・人差し指・中指・薬指を使って練習してみましょう。
- 一番高いG音にアクセントを付けてみましょう。

Exercise 2 consists of a single system of musical notation. It features a standard notation staff on top and a guitar tablature staff on the bottom. The piece is in G major and 4/4 time. It includes five measures with chords G⁵, E m⁷, D sus⁴, C add⁹, and G⁵. The tablature shows triplets of eighth notes and accents on the highest G note in each measure.

exercise 3

トラディショナル・カントリー・スタイル・エクササイズ

- トラディショナルなカントリー・フィンガーピッキング・スタイルとして非常に重要で役に立つものです。
- 低音の4分音符は全て親指でプレイします。
- 2拍・4拍に少しだけアクセントを付けることがグルーヴの助けになります。

Exercise 3 consists of a single system of musical notation. It features a standard notation staff on top and a guitar tablature staff on the bottom. The piece is in A major and 4/4 time. It includes five measures with chords A⁷/C[#], C dim⁷, B m⁷(b⁵), A, and D⁷/F[#]. The tablature shows a double bar line and repeat sign after the second measure.

Exercise 3 continues with a second system of musical notation. It features a standard notation staff on top and a guitar tablature staff on the bottom. The piece is in A major and 4/4 time. It includes three measures with chords A/E, E⁷, and A. The tablature shows a double bar line and first/second endings after the third measure.

Play all 2x

exercise 4

アドバンス・ボーカル・バックিং・スタイル・エクササイズ

- ハンマリング・オンの部分が少々やりにくいと思いますが、常にクリーンな音で均等にプレイしましょう。

C G/B Am

C Am7 Em

G C Am7

Em G C

Am7 Em G

C Am7 C

Em G C

exercise 5

トラディショナル・オルタネイト・ベース・エクササイズ

- exercise 3と同じベーシックなスタイルですが、トップのメロディが動いていきます。
- このフィンガーピッキングは、フォーク・スタイルのバックিংでよくプレイされるものです。

exercise 6

カントリー・スタイル・ハンマリング&プリング・エクササイズ

- Aセクションでは親指・人差し指・中指でプレイします。非常にカントリー的なサウンドがします。
- Bセクションではハンマリング・オンに加えてプリング・オフもプレイします。
- 異なるフィンガーピッキングを試してみることも楽しいと思います。

LAST X

Play **A** 2x **B** 2x **A** 2x **B** 2x **A** 2x Fine

exercise 7

ブルース・オルタネイト・ベース・エクササイズ1

- アコースティック・ブルースのサウンドです。B♭音をわずかにバンドさせてブルース・フィーリングを出しています。
- 私はブリッジに近づけてフィンガーピッキングし、エッジの効いたサウンドを出していますが、弾く場所を変えることによってサウンドの違いをチェックしてみましょう。

Play all 2x

exercise 8

ブルース・オルタネイト・ベース・エクササイズ2

- 少しルーズなフィーリングのブルース・スタイルですが、ダイナミクスとアクセントをたくさん使います。これは全てのブルース・ギターにとってとても重要なことです。

Exercise 8 musical notation and guitar tablature. It consists of three systems of music. Each system has a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a 12/8 time signature. Below each staff is a guitar tablature with strings labeled T (top), A (middle), and B (bottom). The first system is labeled with E7 and A7. The second system is labeled with E7 and B7. The third system is labeled with A7 and E7. The music features a mix of eighth and sixteenth notes, often beamed together, and includes dynamic markings like accents and slurs. The piece ends with a double bar line and a repeat sign.

exercise 9

アドバンス・カントリー・スタイル・ハンマリング・エクササイズ

- ピックした音とレガートの音とのミックスは、タイミングをキープするのが難しいですが、フィンガー・ピッキングとハンマリング・オンとのアタックをミックスさせるととても良い練習になります。それによってアクセントに変化を付けられるようになります。

Exercise 9 musical notation and guitar tablature. It consists of two systems of music. Each system has a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a 6/8 time signature. Below each staff is a guitar tablature with strings labeled T (top), A (middle), and B (bottom). The first system is labeled with a box 'A' and includes first and second endings. The second system is labeled with a box 'B' and includes first and second endings. The music features a mix of eighth and sixteenth notes, often beamed together, and includes dynamic markings like accents and slurs. The piece ends with a double bar line and a repeat sign.

Play all 2x then **A** 2x

exercise 10

ドロップD・ブルース・フィール・エクササイズ

- “スワンプ・ブルース” とでも言うべきブルース・フィーリングを持ったエクササイズです。
- ここではローE弦を下げたドロップDチューニングでプレイしています。
- 異なるF音のバンドをいろいろと試してみましょう。メジャーとマイナー・サード(3度)の中間のバンドは“ブルース・サード(3度)”と呼べるものです。

The score for Exercise 10 is presented in four systems. Each system consists of a standard musical staff with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat), and a corresponding guitar tablature staff below it. The tablature includes fret numbers (0-6) and chord diagrams for B-flat major and B-flat minor. The first system includes a repeat sign with an 8-measure extension marked [8X]. The second system is a continuous sequence of chords. The third system features a mix of chords and melodic lines. The fourth system concludes with a final chord and a fermata over the last note.

exercise 11

ドロップD・ペンタトニック・メロディ・エクササイズ

- ハンマリング・オン、プリング・オフ、スライドがミックスされています。
- メジャー・ペンタトニックによるカントリー的なサウンドが特徴で、メロディは非常にアクティブですが、それほど難しいものではありません。

The score for Exercise 11 is presented in two systems. Each system consists of a standard musical staff with a treble clef and a key signature of one flat (B-flat), and a corresponding guitar tablature staff below it. The tablature includes fret numbers (0-6) and specific techniques such as hammer-ons (H), pull-offs (P), slides (S), and triplets (3). The first system is marked with a box 'A' and includes a 'To' symbol at the end. The second system is marked with a box 'B'. Below the second system, there is a legend: Play [A]4x [B]2x [A]2x [B]2x [A]2x [B]2x.

II:クラシック系

exercise 12

クラシック系2分音符上の4分音符エクササイズ

- ベース音は2分音符でトップの音は4分音符のエクササイズです。
- トップの4分音符は中指と人差し指のオルタネートでプレイしてみましょう。

exercise 13

クラシック系3/4拍子エクササイズ

※練習用に本編とは異なるアレンジの譜面を掲載しています。

- トップの2音は人差し指と中指、人差し指と薬指のどちらでも可能です。私自身はどちらかでしばらくプレイしたら、もう片方でプレイして試してみたりもします。
- プレイがかたくならないように気を付けましょう。

exercise 14

コンテンポラリー3/4拍子ピアノ・スタイル・エクササイズ

- コンテンポラリーなピアノ曲のようなサウンドであり、フランク・ザッパの曲のようでもあります。
- 8分音符が均等に上がり下がります。
- トップの3音は、常に人差し指・中指・薬指でプレイします。

exercise 15

クラシック・ギター曲風エクササイズ1

- フィンガーピッキングは、全て親指～人差し指～中指～人差し指の順になっており、正確さとタイム感を向上させるのにも役立ちます。
- 一度パターンを覚えてしまえば楽しくプレイできるはずですよ。

A m⁽¹¹⁾ E7/G#

B dim7 A m⁽¹¹⁾

G dim7 D m⁽⁹⁾/F

Fmaj7^(b5)/E E A m⁽¹¹⁾

G dim7 D m⁽⁹⁾/F

Fmaj7^(b5)/E E A m⁽¹¹⁾ Fine

exercise 16

クラシック・ギター曲風エクササイズ2

- フィンガーピッキングは1小節目から最後まで同じです。
- 左手のフィンガリングは、できる限り手際よく移動できるように心がけてください。

III:様々なスタイル

exercise 17

6/8拍子リズム・エクササイズ

- 音は3音ずつのグループになっています。6/8拍子は、3連符が2つの2ビートと感ずることもできます。
- Aセクションはルート/5度/ルートですが、Bセクションではルート/5度で3番目の音はA音のままです。これは「Aペダル」とも呼ばれ、効果的なリズム・プレイでもあります。

A

B

Play all 2x A 2x to ♪

exercise 18

ロック・ピアノ・バックিং・スタイル・エクササイズ

- Aの開放弦で4分音符のベース音をプレイし続けるエクササイズです。ベース音上のリズムも繰り返しになっており、ロック・ピアノのようなフィーリングです。
- 最初はゆっくりとしたテンポから始めてください。力強いパルスを生み出すのに良い練習となります。

exercise 19

ポピュラー・ピアノ・バラード・スタイル・エクササイズ

※練習用に本編とは異なるアレンジの譜面を掲載しています。

- 各小節にはプリング・オフが入っており、プリング・オフが不可能な場合はスライドとなっています。
- Bセクションのプリング・オフは左手のフィンガリングによってはスライドでも可能です。
- 均等に一定にプレイしましょう。

exercise 20

ラテン／フラメンコ・スタイル・エクササイズ

- 二つのセクションが一つになった難しいエクササイズです。最初のAセクションは南米的なフィーリングで、二つ目のBセクションはフラメンコ的です。この両方を交互に繰り返すのは容易ではありません。それぞれを別々のセクションとして分けて練習してから組み合わせてみるのも良いアイデアです。

exercise 21

ロック・ピアノ風ペダル・ノート・エクササイズ

- 低音のAペダルを含んだ別のエクササイズです。ここではロック・ピアノのフィーリングをベースにしています。
- トップの3和音はすべてトライアドでペダル音の上を動いていくので、左手のフィンガリングの動きが更に必要になってきます。

Exercise 21 consists of two systems of musical notation. Each system includes a standard notation staff and a guitar tablature staff. The first system has two measures of music, and the second system has two measures. The tablature shows fret numbers and fingerings for the bass and treble staves. The first system's tablature shows a sequence of chords: G7, F7, E7, D7, C7, B7, A7, G7. The second system's tablature shows a sequence of chords: G7, F7, E7, D7, C7, B7, A7, G7. The standard notation shows the corresponding chords and melodic lines.

exercise 22

8分音符ポップ・グルーブ・エクササイズ

- 8つの8分音符が「2・3・3」という組み合わせに分けられたエクササイズです。「2・3・3」それぞれの頭の「1」はベース音になっています。
- 親指とその他の指との組み合わせで8分音符を一定にプレイできることが大切です。

Exercise 22 consists of two systems of musical notation. Each system includes a standard notation staff and a guitar tablature staff. The first system has four measures of music, and the second system has three measures. The tablature shows fret numbers and fingerings for the bass and treble staves. The first system's tablature shows a sequence of chords: E7sus4, E7, G7sus4, G7. The second system's tablature shows a sequence of chords: A7sus4, A7, E7. The standard notation shows the corresponding chords and melodic lines.

exercise 23

フィンガースタイル・ジャズ・ギター・エクササイズ

- 1拍目にメロディがあって、それに続いてコードがアルペジオでプレイされるエクササイズです。こうしたアプローチはジャズのソロ・ギターのアレンジによく用いられます。
- バックグラウンドのパートからメロディが浮かび上がるようにプレイしましょう。

Exercise 23 is a guitar exercise in 3/4 time, B-flat major. It consists of three systems of notation, each with a treble clef staff and a tablature staff. The first system starts with a C sus4 chord and a melodic line, followed by a D m7(b5) and G7 chord progression. The second system features A b maj7, F m7, G7, and G7 sus4 chords. The third system includes A b, B b2, and C sus4 chords, ending with a 'Fine' instruction. The tablature shows specific fretting and picking patterns for each measure.

exercise 24

ファンキー・ジャズ・ピアノ・グルーヴ・エクササイズ

- 60年代のソウル・ジャズまたはファンキー・ジャズのピアノ・グルーヴのようなエクササイズです。
- スライドやハンマリング・オンをプレイしても、グルーヴが一定になるように気を付けましょう。
- ゆっくりとしたテンポから始めてDVDのテンポに近づけていきましょう。

Exercise 24 is a piano exercise in 4/4 time, B-flat major. It consists of two systems of notation, each with a treble clef staff and a tablature staff. System A shows a melodic line with a 'Fine' instruction. System B shows a rhythmic pattern with 'H' (hammer-on) and 'H H' (double hammer-on) markings. The tablature includes specific fretting and picking patterns. Below the notation, the instruction 'Play [A] 4x [B] 2x [A] 2x Fine' is provided.

exercise 25

コード・バリエーション・エクササイズ

- 同じコード進行を3つの異なるピッキング・パターンでプレイしますが、これ以外のパターンでも試してみてください。
- ピッキングのコンビネーションと共にコードにもたくさんの可能性があるの自分で工夫してみましょう。

	D5	B♭Maj7	D/F#	A m7	D5	B♭Maj7	D/F#	A m7
T	3	3	3	1	3	3	3	1
A	0	2	0	0	2	0	0	0
B	3	1	2	0	1	2	0	0

	G m	A m7	G m/B♭	C sus4	D5	C ²	D5	D5
T	3	0	0	0	3	3	3	3
A	0	0	0	0	0	0	0	0
B	3	0	1	3	0	3	0	0

	D5 (Picking Pattern 1)	D5 (Picking Pattern 2)	D5 (Picking Pattern 3)
T			
A			
B			

exercise 26

インド風モード・スタイル・ドローン・エクササイズ

- インド的なサウンドのするモーダルなドローン音を含んだエクササイズです。
- まずは最初の2小節を繰り返して練習してから後半のパターンに進みましょう。

T	3		0		0		2		0		3		0		2		0	
A	3		0		0		4		0		4		0		4		0	
B	3		0		0		1		3		0		3		0		0	

exercise 27

ブラジリアン・スタイル・グルーヴ・エクササイズ

- コードは動いても、常にハイEとBの開放弦を含んでいます。
- 人差し指・中指・薬指を、2・3・4弦と1・2・3弦との間で移動するのが難しい部分です。こうしたブラジリアン・ギターのアプローチは通常ナイロン弦でプレイされますが、スティール弦にも適用できます。

The musical notation for Exercise 27 is presented in three systems. The first system features four measures of chords: E6, D13, C#7(#9/b13), and E/F#. The second system features five measures of chords: C6Maj7, Am9, C6Maj7, D13, and E6. The third system is titled "E6 Picking Pattern" and shows a rhythmic pattern with guitar tablature.

パート2 ピッキングスタイル

後半のパートではピックを使ってプレイします。ほとんどのエクササイズは低めのポジションで書かれていますが、これは低めのポジションと開放弦とのサウンドをよくつかんでもらうためと、ネックを上がり下がりすることなくしっかりと良いピッキングにフォーカスできるようにするためです。とはいえ、これらのエクササイズを正確にプレイすることは簡単ではありません。

これらのエクササイズは、楽しんで練習しながら良いサウンドとテクニックを身につけ、向上させていくことを目的としています。私は8分音符ではオルタネイト・ピッキングを使用しています。もちろん他の可能性にも取り組んでみるのは良いことですが、ことアコースティック・ギターに関してはオルタネイト・ピッキングは非常に重要ですし、タイム感と正確さを身につける助けになります。したがって、まずはオルタネイト・ピッキングをしっかりと身につけてから、自分にとってプレイしやすく、良いサウンドも得られる方法に取り組んでいくのが良いと思います。

I:フォーク／ルーツ系

exercise 28

ウェスタン・ムービー風ピッキングスタイル・エクササイズ

- カウボーイの映画のテーマ曲のようなエクササイズです。4分音符と8分音符のミックスは、オルタネイト・ピッキングの良い感覚をつかむのに効果的です。
- ゆっくりから速くまで、異なるテンポでプレイしてみましょう。

exercise 29

フィドル・スタイル・エクササイズ1

- このパートで多く紹介されるフィドル曲のようなエクササイズの一つです。私自身、アイリッシュやスコティッシュ、そしてアメリカン・ルーツのフィドル・ミュージックを研究していますが、これはモーダルなもので、すべてDのミクソリディアンでAABA形式という、このスタイルでは一般的なものになっています。

Play all 2x

exercise 30

G弦上のメロディ・エクササイズ

- G弦(D弦も何度か出てきます)上のボトム音がメロディとなっています。
- 高い方のハイEやBの開放弦は軽めにプレイしましょう。全体のフィーリングをキープしながらメロディを引き出していくことが大切です。

exercise 31

カントリー／ブルーグラス・スタイル・エクササイズ

- これは25年ほど前、私がアコースティック・ギターのために初めて作ったエクササイズの一つです。当時ヤマハのアコースティック・ギターを買ったばかりで、カントリーやブルーグラスのようなサウンドで何か練習したかったのです。
- 全てオルタネイト・ピッキングでプレイしますが、このエクササイズのゴールはフィーリングとタイミングをつかむことです。

exercise 32

Gmオープン・ポジション・エクササイズ

- Gの開放弦を使ってGマイナーをプレイするのは楽しいものです。一度覚えてしまえば左手のフィンガリングはそれほど難しくはありませんし、右手も8分音符をうまくピッキングする良い練習になります。
- 譜面に書かれている以外にも自分で好きなようにトリルを加えてみましょう。

Gm

To

Play all 2x

exercise 33

フィドル・スタイル・エクササイズ2

- Aのキーでのフィドル曲のエクササイズです。Aはフィドルでは一般的なキーですが、ギターでは扱いにくいキーと言えます。
- いくつかトリプレットを加えています。それらをうまくプレイするにはピッキングと共に左手のポジションも重要になってきます。

V

V V

V V

V V

LAST X

exercise 34

フィドル・スタイル・エクササイズ3

- Eマイナーのフィドル・タイプのエクササイズです。最初のパートは、Eドリアンと関連しており、後半は全てGメジャーです。
- ここでは開放弦は使わず、セカンド・ポジションでプレイしているのでプレイ自体は難しいですが、同じフィンガリングで他のキーに移動することができます。例えば2フレット上がればキーはAとなるわけです。

Exercise 34 consists of four systems of music. Each system includes a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). Below each staff is a guitar tablature (TAB) with fret numbers and fingerings. The first system ends with a repeat sign. The second system ends with a repeat sign. The third system ends with a repeat sign. The fourth system ends with a 'Fine' marking and a double bar line.

exercise 35

オールドタイプ・アメリカン・スタイル・エクササイズ

- 左手が動き回り、後半では同じ音を繰り返す部分が演奏しづらいかと思いますが、まずは全ての音をオルタネイト・ピッキングでゆっくりとプレイし、徐々にテンポを速めていきましょう。

Exercise 35 consists of four systems of music. Each system includes a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). Below each staff is a guitar tablature (TAB) with fret numbers and fingerings. The first system ends with a repeat sign. The second system ends with a repeat sign. The third system ends with a repeat sign. The fourth system ends with a 'LAST X' marking and a double bar line.

exercise 36

Fメジャー・ペンタトニック・エクササイズ

- F、G、A、Cという全てFメジャー・ペンタトニックによるエクササイズです。
- GとDの開放弦を使うので、左手はそれほど大きくは動きません。ただし、左右の手のコーディネーションはチャレンジしがいのある部分です。ゆっくりとしたテンポから始めてから速めていきましょう。

T
A
B

T
A
B

T
A
B

T
A
B

Play all 2x

exercise 37

フィドル・スタイル・エクササイズ4

- フォーク／ルーツ系の中でも最も難しいフィドル曲のエクササイズです。全体はDで、前半は開放弦はなく、全てセカンド・ポジションとなっており、メロディの動きが難しいと言えます。後半ではハイB音までポジションを上げていくところが難しいと思います。ハイB音はフィドル曲ではひんぱんに出てきますし、フィドル・プレイヤーにとっては難しくはないのですが、ギタリストにとってはオープン・ポジションやセカンド・ポジションから離れては戻らなければならないため、そのための工夫が必要です。

T
A
B

T
A
B

T
A
B

T
A
B

exercise 38

開放弦を使ったフィドル・スタイル・エクササイズ

- Cのキーでのフィドル曲のエクササイズです。ここでは開放弦を多く使用する
るので音が重なってきますので注意しましょう。
- exercise 37に続けてこのエクササイズをプレイしてみましょう。37を何度か
続けてから38を1~2回プレイしてみるというのは、こうしたスタイルのトラ
ディショナルな演奏法ですし、良い練習にもなります。

Play all 2x

II:クラシック系

exercise 39

クラシック系アルペジオ・エクササイズ

- アルペジオとスケールを含んだエクササイズです。こうしたサウンドは、クラ
シックだけでなくジャズでもよく聴くことができます。
- スロー・テンポでは、8分音符をダウン・ストロークでピッキングした方が簡単
なので、オルタネイトではピッキングしない時があります。サウンドも異なっ
てくるので、どちらが自分の好みに合うか試してみましょう。

exercise 40

セカンド・ポジション・エクササイズ

- Dのセカンド・ポジションによるエクササイズで、クラシックのバイオリンのようなサウンドがします。運指の際に指を無理に広げることもなく動きも楽なので、セカンド・ポジションのDスケールは最も重要なものの一つであると言えます。クリーンな音でプレイできるように心がけましょう。
- このエクササイズを5フレット上に移動させて行くとFでプレイできます。

TAB: 3 2 4 2 4 2 4 | 5 4 2 5 4 5 | 2 3 5 2 3 2 5 3 | 2 3 5 2 3 2 5

TAB: 3 5 2 3 5 3 | 2 3 2 4 3 5 2 5 | 3 5 2 4 2 3 5 3 | 2 3 2 4 3 5 2 5

TAB: 3 5 3 2 2 2 | 4 2 3 5 2 3 5 | 5 3 2 5 3 2 4 2 | 3 2 0

exercise 41

トラディショナル・クラシック・ギター・スタイル・エクササイズ

- クラシック・ギターのトラディショナルなフィーリングを持ったエクササイズです。良いタイム感とピッキングを心がけましょう。
- 良いサウンドを心がけながら様々なダイナミクスを取り入れてみましょう。

TAB: 2 5 5 5 2 5 5 5 | 4 3 3 3 4 3 3 3 | 6 6 6 6 6 6 | 2 5 5 5 2 5 5 5 | 3 3 3 3 3 3

TAB: 2 2 2 2 2 2 2 | 3 3 3 5 5 5 | 2 6 6 6 6 6 6 | 6 6 6 6 6 6 | 6 6 6 6 6 6 | 5 5 5 5 5 5 | 2 5 5 5 2 5 5 5

TAB: 2 5 5 5 2 5 5 5 | 1 3 3 3 3 3 3 | 2 4 4 4 2 4 4 4 | 2 2 2 2 5 5 5 | 2 2 2 2 4 4 4 4 | 2

Repeat LAST X

exercise 42

オープン&サード・ポジション・エクササイズ

- Cマイナーのオープン・ポジションとサード・ポジションが組み合わさったエクササイズです。
- メロディが6本の弦全てを行き来するところが難しいと思いますし、左右の手のコンビネーションのためにも良い練習となります。

Cm

TAB: 3 0 1 3 0 1 4 1 | 0 4 3 4 5 3 4 6 | 3 4 6 3 4 6 3 0

TAB: 2 4 3 2 0 3 1 0 | 5 4 5 3 4 3 5 4 | 5 3

E F

TAB: 0 0 2 4 0 2 4 1 | 2 2 1 4 2 0 4 2 | 1 1 3 0 1 3 3 2 0 | 3 1 0 3

F# G

TAB: 2 2 4 1 2 4 1 3 | 4 4 3 1 4 2 1 4 | 3 3 0 2 3 0 2 4 | 0 0 4 2 0 3 2 0

Ab A

TAB: 4 4 1 3 4 1 3 0 | 1 1 0 3 1 4 3 1 | 0 0 2 4 0 2 4 1 | 2 2 1 4 2 0 4 2

Bb B

TAB: 1 1 3 0 1 3 3 2 0 | 3 1 0 3 1 | 2 2 4 1 2 4 1 3 | 0 0 3 1 4 2 1 4

C Db

TAB: 3 3 0 2 3 0 2 0 | 1 1 0 2 0 3 2 0 | 4 4 1 3 4 1 3 1 | 2 2 1 3 1 4 3 1

D Eb

TAB: 0 0 2 4 0 2 2 3 3 2 0 | 2 0 4 2 | 1 1 3 0 1 3 4 4 3 1 | 3 1 0 3

exercise 43

メジャー・スケール・エクササイズ

- ローEから始まるスケール・エクササイズで、オープン・ポジションのメジャー・スケールが半音ずつ上がっていきます。
- 個々のキーを練習してから、他のキーとつなげて練習するのが良いと思います。

exercise 44

マイナー・スケール・エクササイズ

- マイナー・スケールのエクササイズで、最初の5音が上行した後下行する1小節フレーズとなっています。
- しっかりと練習してネック(指板)に対する知識を深め、耳を鍛えましょう。

exercise 45

バイオリン風スケール・エクササイズ

- 「ボウイング(運弓:弓で弾くこと)・スタディ」とも呼ばれるバイオリンのスケール・エクササイズのようなパターンです。
- オルタネイト・ピッキングに最適で、左手の練習にもなるエクササイズです。

exercise 46

クラシック風アルペジオ・エクササイズ1

- このエクササイズと、後に出てくるexercise 53と54は同じコード進行になっていますが、こちらはアルペジオや一定の8分音符が多く、もっとクラシックくっばいサウンドになっています。
- キーはCマイナーで、ほとんどがこのキーでは一般的なサード・ポジションでプレイされますが、ポジションをシフトすることによって左手のフィンガリングが容易になるものもあります。

Em F#7

T
A
B

B7 To 1. Em B7

T
A
B

2. C Am E E7

T
A
B

F G7 C Am

T
A
B

F#7 B7 D.C. al

T
A
B

C D E

T
A
B

exercise 47

クラシック風アルペジオ・エクササイズ2

- ほとんどがアルペジオのエクササイズで、順番通りの音列ではないので「ブローケン・アルペジオ」とも呼ばれ、左右の手にとっては難しいものでもあります。
- 少しルバートの感じでプレイしてテンポに変化を付けると、サウンドがかたい感じにはならないと思います。

III:様々なスタイル

exercise 48

アコースティック・ロック・スタイル・エクササイズ

- 8分音符はスウィングする感じで、2小節フレーズの1拍目の音がベース音になっていますので、その音の前後にダイナミクスを付けてプレイしてみましょう。

2

T
A
B

2

T
A
B

2

T
A
B

exercise 49

スウィング・フィール・エクササイズ

- 全てファースト・ポジションでプレイします。
- これはオルタネイト・ピッキングが必ずしも常にベストではないという良い例でもあります。ハンマリング・オンや音のインターバルやリズムによってはダウン・ストローク2つやアップ・ストローク2つでプレイしたほうが楽な場合もあるからです。トリプレットの部分にはピッキングの順番を書き入れましたが、自分でいろいろなコンビネーションを試してみてください。

exercise 50

ルバート・テンポ・エクササイズ

- 映画のサウンドトラックで聞かれるアコースティック・ギター・パートのようなエクササイズです。テンポは少し自由にルバートでプレイしてみましょう。
- できるだけそれぞれの音がよく響くように心がけてください。

After Repeat D.C. 2nd Ending

A

D G Em A7 G D

T
A
B

Bm G A7 D Fine

B

D G

Em7 A7 G D

Bm G

A7 D

Play **A** 2x **B** 4x

exercise 51

フォーク調ワルツ・エクササイズ

- これも映画のサウンドトラックのような感じで、私にはアコーディオンで演奏されているのが目に浮かびます。
- Aセクションのメロディはその後にコード進行のバリエーションが続くので、それほど難しくはないはずですが、Bセクションの8分音符を弾きこなすのはかなり難しいと思います。ゆっくりとしたテンポから始めて、弾けるようになったらテンポを速めてみましょう。

exercise 52

フラメンコ風エクササイズ

- 非常にスパニッシュ的なサウンドのエクササイズです。
- 個々の音よりもフィーリングが大切です。ブルースをプレイするときのように、多少荒削りになってもOKです。

A

Am E7

T
A
B

Am E7

T
A
B

B

Am E7

T
A
B

Play **A** 2x **B** 4x **A** 2x **B** 3x \oplus

exercise 53

ラテン・ジャズ・フィール・エクササイズ

- exercise 46と同じコード進行ですが、リズムやシンクペーションによってクラシックとは異なるサウンドを生み出しています。
- メロディのほとんどはコード・トーンですので、コード・サウンドがどのようにメロディを描き出しているのかを聴き取ってみましょう。

Chords: Cm, D7, G7, Cm, Fm7, B \flat 7, E \flat , G7, Cm, D7, G7, Cm, Fm7, B \flat 7, E \flat , G7, E \flat .

exercise 54

ジャズ・スタイル・エクササイズ

- exercise 53と同じコード進行でのジャズ・アプローチです。スウィングする8分音符のフィールによるリズムや音の選び方がジャズっぽいサウンドを生み出しています。
- アルベジオも多く含まれていますが、ジャズ・スタイルのフレージングとなっています。その辺りを同じコード進行の46や53と比較すると興味深いと思います。

Chords: Cm7, D7, G7, Cm7, Fm7, B \flat 7, E \flat , G7, Cm7, D7, Cm7, Fm7, B \flat 7, E \flat , G7 p , E \flat .

exercise 55

6/8拍子ピッキング・エクササイズ

- 6/8拍子ですが、2つのトリプレットによる2ビートのように感じることができます。
- 最初はD(ダウン)U(アップ)D(ダウン)／DUDというピッキングですが、3～4小節目ではアクセントが2つのグループに分けられることからDUD／UDUのオルタネイトになっており、更に9～12小節目はDUD／DUUというピッキングになっています。練習するにつれて、それが理にかなっていることがわかってと思います。

Play 2x 2x 2x Ending

exercise 56

ボーカル・イントロ・スタイル・エクササイズ

- フィンガースタイルの最初にあったようなボーカルのイントロ・パターンのようなエクササイズです。
- 使いやすいピッキングのチョイスをDVDの演奏で紹介していますので、自分の気に入ったものを試してみてください。

exercise 57

Dマイナー・ペンタトニック・スケール・エクササイズ

- オープン・ポジションのDマイナー・ペンタトニック・フレーズのエクササイズで、ロックやカントリー、ジャズなどで聴くことができます。
- 全てをピックするのではなく、ハンマリング・オンやプリング・オフを使ってプレイしてみるのも良いと思います。
- 速いテンポでもプレイできるようにしましょう。

Play all 2x

exercise 58

コンテンポラリー・フォーク・スタイル・エクササイズ

- コンテンポラリーなフォーク・ミュージックのようなミックスされたスタイルのエクササイズです。
- リズムのパルスと、2拍・4拍にアクセントがあることを聴き取ってください。
- 異なるテンポでも練習してみましょう。

The musical score for Exercise 58 is presented in three systems. Each system includes a treble clef staff with a key signature of one sharp (F#) and a guitar tablature staff below it. The first system, labeled 'A', contains four measures of music. The second system, labeled 'B', contains four measures of music. The third system contains four measures of music, with the first two measures marked '1.' and the last two marked '2.'. The tablature includes various techniques such as triplets, slurs, and dynamic markings like 'p' (piano).

おわりに

ここに紹介したエクササイズを含め、チャレンジすべき素材というのはたくさんあります。一度に試してマスターしようとせず、次のエクササイズに取り組む準備ができてから進んでいきましょう。どんなに長い時間がかかって、あなたは常に学び、欠点を補って上達しているのです。

全てを行うことは不可能ですが、それでも異なる音楽を聴くことによって自分ができるようになりたいと思うアイデアを得られることにもなります。

あなたがアコースティックを主要な楽器としてフォーカスしようと、エレクトリックの次に加えようと、アコースティック・ギターを学ぶことは素晴らしい探求となるはずで。

ここに紹介したエクササイズが、みなさんのモチベーションを上げることになれば願ってやみません。Keep Playing!

I'd like to dedicate this book to my family, my folks Jim and Anne, my kids Matt and Kate and my lovely and talented wife Meg.

Also thanks to Collings guitars for making great instruments and thanks to Sam Kawa, Tomo Fugita and the rest of the crew who helped get this DVD together.

Jim Kelly

『アコースティック・ギタリストのための演奏能力開発エクササイズ』解説書

- 譜面・解説: ジム・ケリー (Jim Kelly)
- 監修: トモ藤田 (Tomo Fujita)
- 浄書: 清水 裕介 (Yusuke Shimizu)
- 翻訳: サム・カワ (Sam Kawa)
- DTP編集: ANTENNA
- 企画制作: 株式会社リットーミュージック
- 無断複製・転載を禁じる

VWD-329